

山行報告書

日時	2014年11月29日(土)~30日(日)		天候	29日:晴れ 30日:曇り後雨
山名	<国東の山> 津和戸山529m・田原山(鋸山)543m			
CL	秋山	参加者	花田(SL)、吉永(SA)、吉田、坂本、徳永 <総勢7名>	
(コース)	<p>11/29(土) 春日原7:00=太宰府IC=玖珠IC=9:29登山口9:46…13:02水月寺奥院…展望台…津和戸山… …13:22展望台13:48…水月寺奥院…15:35登山口15:55 =17:15香々地青少年の家</p> <p>11/30(日) 香々地青少年の家8:05=9:05田原山登山口9:25…南尾根…10:08大観峰…八方岳 …無名岩…見返り岩…登山口12:25 =双葉の里=宇佐神宮=玖珠IC=18:30春日原</p>			
(コメント)	<p>11/29(土) 昨日日帰りで中山仙境を終えて目指したものの津和戸山に向かう途中に雨が降り出し、リーダーを筆頭に大半の人が中止したりベンジ山行。心配した天候も当日に好転し絶好の登山日和となったが、登山口には他に車なく終日誰にも会わず、貸し切りの山となった。左側3番から時計廻りに巡る。17番針の穴付近は岩が濡れており緊張する。練習を兼ねてテープシュリングで簡易ハーネスを作り確保しながら進む。漸く水月寺奥院に着き硯石水で喉を潤し、山頂へ向かう。山頂は展望無く展望台に戻り展望と紅葉を楽しみながら昼食。下った後、登り返して最後の88番石仏に無事のお礼をし、海蔵寺跡の紅葉を楽しんで登山口に戻った。豊後高田市内のスーパーで食材とアルコールを仕入れ、夕日で有名な真玉海岸を通る時は正に、ベストタイミング。香々地青少年の家ではキャンプ場の炊飯棟に拵えたテーブルで宴会を楽しんだ。</p> <p>11/30(日) 地元山の会配布の記念品(ルート図、パンダナとミカン)を手にとり午後から雨の予報を気にしながら出発する。大観峰に向かう登山道は2年前と違ってまるで台風か大雨でなぎ倒されたように荒れており無残。(地元の人に聞くと、重機を入れて皆伐した結果だそうです。)稜線に出ると強風に煽られながら鎖を頼りに大観峰、八方岳を超える。ここからも記憶に無かった緊張の箇所が続き小雨が落ち始める。予定していた熊野磨崖仏へのルートを中止し下山。車に乗り込むと同時に強い雨。登山口近くの山香温泉風の郷で汗を流し、不滅の69連勝の名横綱双葉山を祈念する双葉の里を見学。雨が小降りとなったため宇佐八幡も訪れるが、お目当ての国宝襖絵展が開かれている宝物館はまだ3時半過ぎなのに閉館。玖珠の道の駅で吉永さん、基山PAで大久保さんを降ろし、予定時間に帰福した。</p> <p>九州の妙義山とも呼べる期待通りの岩山でしたが、スリル溢れた山行と宴会を参加の皆さん楽しんでいただけたでしょうか? 特にザイルで皆を確保していただいたSLの花田さん、SAの吉永さんには特にお世話になり有難うございました。(記:秋山)</p>			
費用概算	<p>(交通費) 車両費総額(2台): 約¥30,000÷5≒¥6,000/人</p> <p>(その他) 宿泊料: ¥2,130/人 食料・お酒等: ¥2,370/人 入浴料(山香温泉) ¥500/人</p>			



↑ 津和戸山のルート



↑ 香々地青少年の家の宴会風景



↑ 田原山・大観峰にて



↑ 田原山で馬の背の稜線を歩く